

中学校部活動地域移行

スポーツ庁・文化庁(R4.12)

「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」

- ✓ まずは休日における地域の環境整備
- ✓ 令和5年度からの3年間で推進期間

主な今年度の取組

大津市部活動地域移行検討懇話会の開催

- 委員
【学識経験者】立命館大学・滋賀大学・びわこスポーツ成蹊大学・成安造形大学
【指導経験者】大津市スポーツ協会
【市職員】スポーツ課・中学校長
- 開催回数 4回
- 検討内容 「本市の部活動地域移行コンセプトについて」「モデル事業について」「指導者や実施主体について」「次年度のモデル事業について」等

モデル事業の実施

- ソフトボール部における合同部活動
- 成安造形大学との連携による美術活動

部活動指導員・外部指導者の配置

- 部活動指導員(令和5年度7人)
- 外部指導者(令和5年度20人)

部活動地域移行シンポジウムの共催

- 主催 びわこ成蹊スポーツ大学・大阪成蹊大学スポーツイノベーション研究所
- 共催 大津市教育委員会・京都市教育委員会・大阪市教育委員会
- シンポジウムテーマ「地域とスポーツ ～部活動の地域移行をきっかけに～」

部活動地域移行コンセプト

---部活動地域移行を進めていく上で大切にしたい視点---

コンセプト

“魅力”を感じる
笑顔輝く大津の部活動

“魅力”とは

部活動の地域移行を進めることにより、生徒が中学校時代の「今」を充実するとともに「将来」の豊かな人生につながることはもとより、同時に、保護者、地域関係者、教員等の関わる者すべてが、その良さを享受し、「魅力」を感じながら豊かな人生につなげていくことができる取組とする。

保護者の“魅力”

子どもがやりたいことに夢中になり成長していく姿を、自らも輪に加わり楽しむことができる“魅力”

- ・子どもの成長を実感
- ・安心、安全な環境
- ・地域とのつながり
- ・保護者同士の交流の深まり

生徒の“魅力”

中学校時代の「今」を充実するとともに「将来」の豊かな人生につながる“魅力”

- ・専門的な指導による技術の向上
- ・仲間とのつながり、交流
- ・新たな活動へのチャレンジ
- ・多様な選択
- ・将来につながる経験

地域の“魅力”

地域の子どもの成長を支え、自らの生きがいや自己実現につなげることができる“魅力”

- ・地域の子どもの育ちへの参画
- ・生きがいや自己実現、社会貢献
- ・多様な競技、文化芸術の普及
- ・生涯学習の推進
- ・まちづくりの活性化

教職員の“魅力”

教職員の業務の整理と自らのワークライフバランスの実現につながる“魅力”

- ・教科指導にかける時間の創出
- ・働き方改革(ワークライフバランス・専門的指導支援等)
- ・ネットワークの広がり

大学

スポーツ協会・団体

企業・NPO等

大津市教育委員会・大津市(スポーツ課)

方針 ①

生涯にわたって、スポーツ・文化芸術に親しむことができる機会の確保

「活動したい」「やってみたい」生徒の意欲やニーズを大切に、活動環境を整える

- 「技能の向上とともに自律性、社会性を醸成する」部活動のコンセプトを継承・発展すること
- 多様なスポーツ、文化芸術活動を選択できる環境を整えること
- 障害の有無に関わらず、ともに活動できる環境を整えること(インクルーシブの観点)
- 新たな活動との出会い、チャレンジを支える環境を整えること

方針 ②

地域とともに子どもの育ちを支える環境づくり

地域の実情に応じつつ、地域・保護者・学校の協働により、子どもの成長を後押しする

- 学校運営協議会を中心に地域の部活動の在り方について地域とともに協議を進めること
- 地域団体、関係者等との緊密な連携により、相互理解のもとに進めること
- 参画者や地域にとっても有意義であること
- 地域移行の趣旨等について保護者・地域に適時、情報提供すること

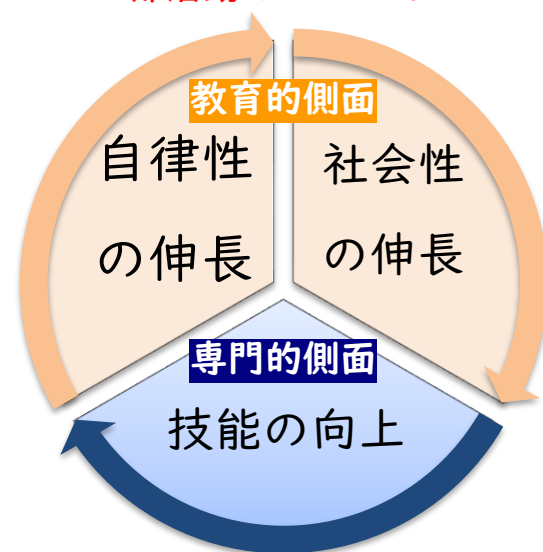
方針 ③

安心・安全で持続可能な活動体制づくり

本市の状況を踏まえた柔軟、段階的な地域移行により、将来にわたり過度な負担なく持続的に運営できる体制を構築する

- 安心・安全な運営や活動体制となること
- 指導者の専門性、指導力が高められること
- 教員の働き方改革につながること
- 保護者負担について考慮した運営となること
- 地域、学校の状況、競技種目等にあわせた柔軟、段階的な移行を図ること

部活動のコンセプト



令和5年度 モデル事業①

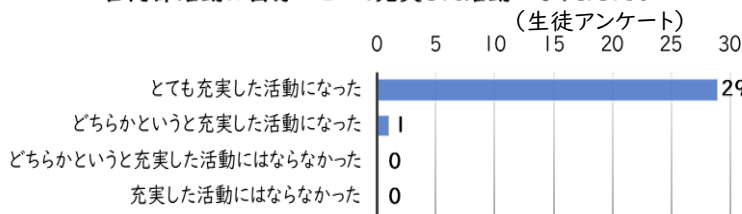
～ソフトボール部の合同部活動～

活動の様子

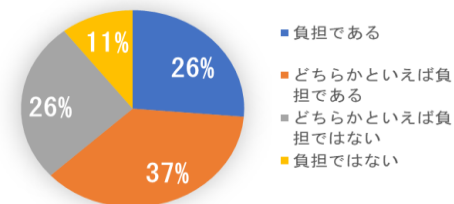
- **第1回 令和5年10月29日(日) 4校**
比叡山高校の選手がサポートに加わり、基礎技術を丁寧に練習。
- **第2回 令和5年11月26日(日) 3校**
バッテリーと野手に分かれての練習。
バッテリーは投げ込み、野手は捕球の基本練習を中心に練習。
- **第3回 令和5年12月 3日(日) 4校**
捕球と送球・走塁の基礎技術を丁寧に練習。
- **第4回 令和5年12月17日(日) 5校**
大津商業高校の選手がサポートに加わり、打撃練習を中心に練習。
- **第5回 令和6年 2月 4日(日) 5校**
冬季トレーニングを中心に練習。



合同部活動は自分にとって充実した活動になりましたか



移動に係る負担（生徒アンケート）
会場までの移動を公共交通機関と回答した19名



他校の生徒と一緒に活動することについてどのように感じましたか



移動に係る負担（保護者アンケート）
会場までの移動を公共交通機関と回答した14名



活動人数の増加による生徒の意識

- ・ 生徒の活動に対する充実感が高く、活動人数が増えることで技能的側面のみでなく、教育的側面においても肯定的にとらえている生徒が多い。

教員の専門的支援

- ・ 引率の負担は生じるものの、競技経験、指導経験のない顧問にとっては指導における疑問を競技経験豊富な指導者に質問でき、指導を学ぶ機会になっている。

移動にかかる負担

- ・ 練習会場までの移動について負担、どちらかといえば負担と感じている生徒、保護者の割合が高く、会場は参加校で分担するなど一か所に集中することは避けることが望ましい。

令和5年度 モデル事業②

～成安造形大学との連携による美術活動～

活動の様子

● 第1回 令和5年10月21日(土)

参加者19名(8校)

堅田中・仰木中・唐崎中・皇子山中・粟津中・北大路中・瀬田中・瀬田北中

テーマ【ビニール袋で巨大チンアナゴを創ろう！】

まずは、アイスブレイクとして、〇×クイズや自己紹介を行い、生徒間で交流。

その後、グループになり巨大チンアナゴの共同制作に取り組んだ。



● 第2回 令和5年12月23日(土)

参加者20名(9校)

真野中・堅田中・仰木中・唐崎中・皇子山中・粟津中・北大路中・石山中

瀬田北中

テーマ【グループで独自のビワコオオナマズを創ろう！】

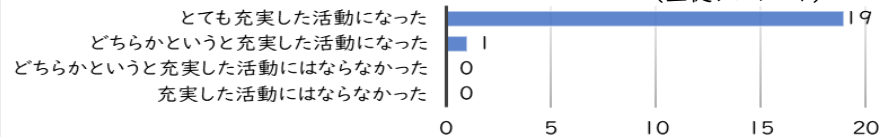
第1回目の活動の様子を振り返り、ゲームで交流。グループでビワコオオナマズのイメージを広げて、制作活動を行った。



● 第3回 令和6年3月16日(土)実施予定

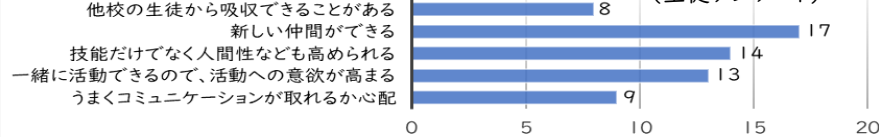
本日の活動は、自分にとって充実した活動になりましたか

(生徒アンケート)



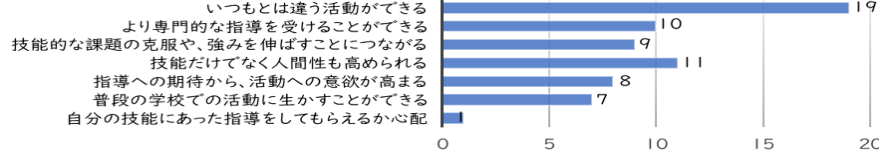
他校の生徒と一緒に活動することについてどのように感じましたか

(生徒アンケート)



大学の先生や大学生から指導を受けることについてどのように感じましたか

(生徒アンケート)



参加生徒の意識

- 他校の生徒と一緒に活動することやより専門的な指導を受けられることに期待している生徒が多く、肯定的にとらえる生徒が多い。

参加者の募集方法

- 美術部設置の学校に参加募集。部活動ではなく個人での参加のため、興味のある生徒が活動に参加することができた。今後、募集方法を拡大する方法の検討が必要である。

令和6年度 本市の部活動地域移行の取組

大津の地理的状況、部活動所属人数等の状況を踏まえ、できうることから柔軟、段階的に取り組む。

- 所属人数が少ない部活動の合同部活動化
- 大学連携の充実
- 部活動指導員、外部指導者の拡充
- 多様なニーズに対応する体験機会の創出
- 地域の実施主体(担い手)へのアプローチ

